

大学	家政学部	文化創造学部 文化創造学科
卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 岐阜女子大学は、建学の精神「人らしく、女らしく、あなたらしく、あなたならでは」の下、広く豊かな教養と高い専門的知識・技術を育み、地域社会で主体的に活動できる人材を育成する。そのため、大学が定める学力及び能力・人間力を身につけ、卒業要件を満たして所定の期間在籍した者に、卒業を認定し、学位を授与する。	卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 家政学部は、建学の精神に基づき、広く豊かな教養と家政学に関する高い専門知識や技術を育み、地域社会で主体的に活動できる人間力を育成するため、以下の3つを教育目標とする。この目標を踏まえて編成した本学部の教育課程を修め、必要な卒業要件を満たした者を学位授与の適格者とする。 1 「女子ならでは」の深い教養を学修し、地域社会で主体的に活動できる力を身につける。 2 家政学の専門知識と専門技術を修得し、地域社会で有用な資格が取れる力を身につける。 3 地域社会の幅広い分野で活躍できるように、自律性と協調性、倫理観、コミュニケーション能力などについて、豊かな人間力を身につける。	卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 文化創造学部は、建学の精神に基づき、広く豊かな教養と初等教育・文化事業に関する高い専門知識や技能を身につけ、主体性を持って地域社会で活動できる人材を育成するため、以下の3つを教育目標とする。この教育目標を踏まえて編成した教育課程を修め、卒業要件を満たした者を学位授与の適格者とする。 1 「女子ならでは」の深い教養を育み、生涯にわたって学び続ける力、主体性を持って地域社会で活動できる力を身につける。 2 初等教育・文化に関する高い専門的知識と技能を修得し、社会的に認められる資格を取得できる力を身につける。 3 相手の立場を思いやる心、たゆまず努力する姿勢、多様な価値観を認める寛容な精神など、地域社会で幅広く活躍できる人間力を身につける。
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） 岐阜女子大学は、豊かな教養と高い専門的知識・技術を育み、地域社会で主体的に活動できる人間力の育成をめざして、多様な授業形態を組合せた教育課程を体系的に編成し、それを実践・評価する。	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） 家政学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教養教育科目、学部共通科目、専門科目、関連する選択科目や実践的教育を体系的に編成して開講する。	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） 文化創造学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教養教育科目、学部共通科目、専門科目、関連する選択科目や実践的教育を体系的に編成して開講する。
1 教育課程の編成 (1) 教養教育では、大学での学びと将来に向けての学びに主体的に取り組む自律性を育むため、学修の基礎となる全学共通教育科目を配置する。 (2) 専門教育では、高い専門性を身につけるため、主要科目と関連する履修科目の到達目標を明確にして体系的に配置する。 (3) 学識の実践力を高めるため、実習・演習科目を効果的に配置する。	1 教育課程の編成 (1) 教養教育では、全学共通で自己確立（自己探求、自己表現、自己創造）をめざす基盤教育に注力し、地域社会のグローバル化に応じた情報学、外国語学と教養選択科目を配置する。 (2) 専門教育では、学修の基礎となる共通科目と高度な専門科目を体系的に配置し、国家資格等の取得をめざした教育課程を編成する。 (3) 実践的能力を重視して、講義に関する演習・実習科目を多く配置する。 (4) 論理的な思考力と行動力を身につけるため、卒論研究と卒業論文の作成を必修とする。	1 教育課程の編成 (1) 教養教育では、全学共通で自己確立（自己探求、自己表現、自己創造）をめざす基礎教育に注力し、地域社会のグローバル化に応じた情報学、外国語学と教養選択科目を配置する。 (2) 専門教育では、学部での専門的な学修の基礎となる共通科目と各専攻が定める主要科目と関連科目を、学修内容・学修目標を明確にして配置する。 (3) 演習科目、学外実習科目等を配置し、学生の実践力の育成を図る。 (4) 論理的な思考力と実践力を身につけるため、卒業研究と卒業論文の作成を必修とする。
2 教育内容・方法 (1) 教育目標・教育課程に応じた効果的な教育を推進する。 (2) 基礎・専門教育課程では、カリキュラムマップを編成し、学生の主体的な受講と学修を推進する。	2 教育内容・方法 (1) 家政学部では、健康栄養学、生活科学、住居学の基礎と専門について、家政学の視点から実践的に教育する。 (2) 各学修分野について、カリキュラムマップ、専門・基礎テキスト、資格取得ガイドブック等の教材や資料、	2 教育内容・方法 (1) 文化創造学部では、文化創造学、初等教育学、デジタルアーカイブを実践的に教育する。 (2) 各専攻で、学士力育成のためのカリキュラムマップ、専門基礎テキスト、資格取得ガイドブック等の教材

	<p>(3) 学修の効果を高めるため、主体的、協働的、課題解決型の実践的学修を取り入れる。</p> <p>(4) 本学教育の総仕上げとして、卒業研究を必修とする。</p> <p>3 学修成果の評価</p> <p>(1) 2年終了時には、進学課程に必要な単位の修得と卒業研究等の履修に必要な基礎学力の修得を評価する。</p> <p>(2) 学修状況を調査し、学修の状態と学修の方法を把握して指導と評価に活用する。</p> <p>(3) 卒業研究と関連学修について総合的な学びを評価し、卒業の適否を判断する。</p>	<p>授業と家庭学修の指針となるシラバスを提供し、学生の主体的な学修を支援する。</p> <p>(3) 実践科目では、就業力を育成するため、学生参加型授業、グループ学習、課題解決型学習（PBL）等を実施し、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的での深い学びを支援する。</p> <p>(4) 各学年にアドバイザー教員を配置し、学生の学修・生活等についてきめ細かな相談や助言を行う。</p> <p>3 学修成果の評価</p> <p>(1) 学生の学修成果は、レポート、テスト、実技、行動力、出席率などで評価し、単位認定の適否を判断する。</p> <p>(2) 2年終了時には、進級に必要な科目的単位修得と卒業研究等の履修に必要な基礎学力の修得ができるかを評価し、進級の適否を判断する。</p> <p>(3) 卒業研究と全体的な学修について評価し、卒業の適否を判断する。</p>	<p>や資料、授業と家庭学修の指針となるシラバスを提供し、学生の主体的な学修を支援する。</p> <p>(3) 学生参加型授業、問題解決型学習（PBL）等を実施し、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的での深い学びを支援する。</p> <p>(4) 各学年にアドバイザー教員を配置し、学生の学修・生活等についてきめ細かな相談や助言を行う。</p> <p>3 学修成果の評価</p> <p>(1) 学生の学修成果は、レポート、テスト、実技、行動力、出席率などで評価し、単位認定の適否を判断する。</p> <p>(2) 2年終了時には、進級に必要な科目的単位修得と卒業研究等の履修に必要な基礎学力の修得ができるかを評価し、進級の適否を判断する。</p> <p>(3) 卒業研究の評価は論文発表と口頭発表で行い、その結果と全履修科目的学修成果を総合して、卒業の適否を判断する。</p>
	<p>入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）</p> <p>岐阜女子大学は、建学の精神と教育の目標を理解し、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性のある多様な人間力の研鑽に意欲的な人を選抜する。</p> <p>また、高い専門性を身につけ、地域社会での活躍をめざす人の入学を期待する。</p>	<p>入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）</p> <p>家政学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を理解して、それを学ぶに足る基礎的学力を有し、学修に意欲があり、卒業後に地域社会での活躍をめざしている人の入学を期待する。</p>	<p>入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）</p> <p>文化創造学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次のような女学生の入学を期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大学での学修に必要な基礎学力を有している人。 2 知的好奇心にあふれ、向学心のある人。 3 他者の考えを理解し、自分で考えて判断し、自己の意見を表現できる社会的能力を磨きたい人。 4 卒業後は、地域社会での活躍をめざす人。